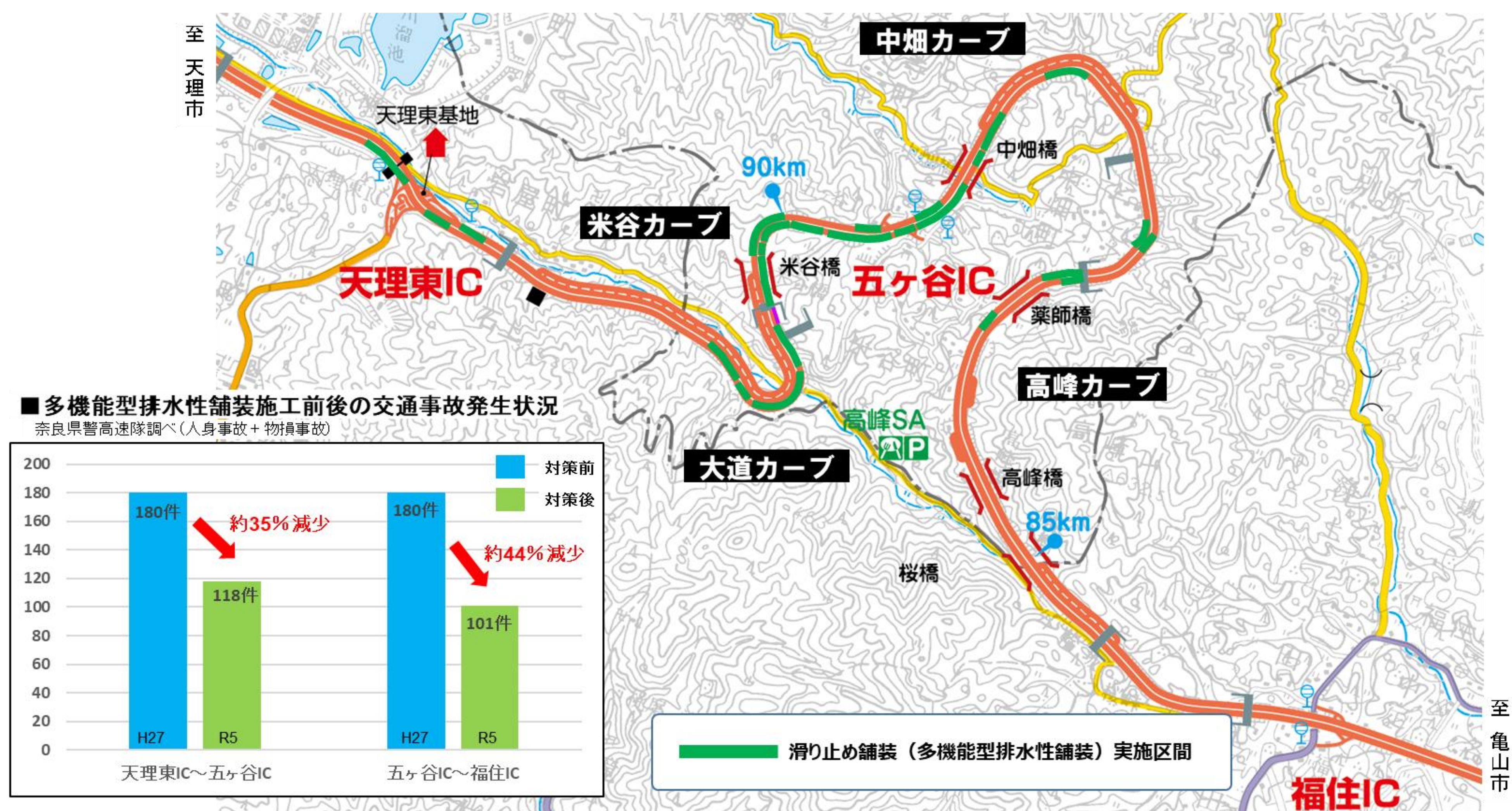


交通安全対策 の取り組み

舗装の改良による対策

滑り止め舗装（多機能型排水性舗装）の実施

Ωカーブ区間では、湿潤時の事故が多く発生していることから、スリップ等を抑制するため、平成26年度以降、**滑り止め舗装（多機能型排水性舗装）**への舗装改良を進めています。



多機能型排水性舗装の特徴

- ・ 一層で排水機能と防水機能の2つの機能
- ・ 排水機能によるハイドロプレーニング等の防止により、安全性の向上
- ・ 凍結防止剤の流出が少なく、凍結防止機能の持続性向上
- ・ 路面を縦溝粗面に仕上げることで、ブラックアイスバーンの解消を図ることができる粗面系（ハイブリッド型）凍結抑制舗装
- ・ 耐流動性と骨材飛散抵抗性に優れている
- ・ 縦溝粗面効果により、昼夜ともに視認性が向上し、密粒度タイプの舗装に比べ、タイヤ路面騒音値が低減

